

サルビアやマリーゴールドなど色鮮やかな花がいっぱい

—花いっぱい運動の日に追分市街地域で植栽—

5月18日は「花いっぱい運動の日」(フラワーデー)

今年も追分地区で町内会や老人クラブを始め各団体の多くの人々が参加して花植えが行われました。各地域の花壇や公園、施設の周りなどにサルビアやマリーゴールド、インパチェンスなどおよそ9,000本が参加した人達の手で次々と手際よく植えられました。赤や黄色、ピンクなど色とりどりのきれいな花でいっぱいとなった花壇や公園は、行き交う人々の目を楽しませています。

なお、平成15年から5月の第3日曜日が「花いっぱい運動の日」となりました。



さわやかな朝

みんな元気にウォーキングで体力づくり

〜追分地区で歩こう会開催〜

さわやかな朝のおいしい空気を吸いながらみんなで元気に歩こうと5月11日、追分地区で「歩こう会」(安平町体力づくり推進協議会主催)が開催されました。当日は若干肌寒かったものの天気は良く、絶好のウォーキング日和となりました。

歩こう会は各町内会ごとに行われ、スタート地点やコース、ゴールは各町内会で設定。参加した人たちも子どもからお年寄り、家族連れや夫婦

と様々。各地区の参加者はそれぞれ元気に出発しウォーキングを楽しみました。これから暖かくなり、運動するには良い季節となります。

歩くことは年齢・性別などあまり関係なく、体にそれほど無理をかけずに健康維持・体力づくりに持ってこい。普段運動不足と感じている方はいませんか?自分に合った距離とコースを設定して歩いてみてはいかがでしょうか。



花よりも幹。不要な花は摘むこと

役場のカウンターにツツジの鉢を置き、職員や来庁者の目を楽しませてくれる高山正志さん(早来北進)ですが、今年も見事な花を咲かせた鉢で、見る人の心を和ませてくれました。

「花よりも幹の良さが審査の基準です」と話します。「木の上の花びらが枯れると花をすべて摘むことで種に栄養が奪われず、来年もきれいな花を咲かす」とツツジ作りの秘伝を熱く語っていました。



ツツジの手入れに来た高山正志さん(右から二人目)

手作りのプランターです

5月14日陸上自衛隊安平駐屯地の隊員の皆さんによって作られた、木製プランターが町に寄贈されました。大きさは、縦70cm横27cm高さ35cmのものが10個。

町では、色鮮やかな花を植えて、町内の各駅に設置し、皆さんに見ていただく予定です。

